



県 章

滋賀県公報

平成 22 年（2010 年）
8 月 20 日
号 外 （ 1 ）
金 曜 日

毎週月・水・金曜 3 回発行

目 次

○ 監 査 委 員 公 告

監査の結果に基づき措置を講じた旨の通知に係る事項の公表公告..... 1

監 査 委 員 公 告

監査の結果に基づき措置を講じた旨の通知に係る事項の公表公告

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第12項の規定により、知事から監査の結果に基づき措置を講じた旨の通知があったので、同項の規定により当該通知に係る事項を次のとおり公表する。

平成22年 8 月 20 日

滋賀県監査委員	大	井	豊
〃	平	居	新 司 郎
〃	山	田	実
〃	宮	村	統 雄

監査の結果に基づき措置を講じた旨の通知に係る事項

監査執行対象機関名	財団法人滋賀県文化振興事業団
監 査 執 行 年 月 日	平成21年11月18日
監査結果報告年月日	平成22年 2 月 26 日
監 査 の 結 果	文化産業交流会館の目的外使用許可に係る使用料収入については、平成21年 3 月末日現在、863,501円の収入未済が発生しているので、速やかな収納に努められたい。 当該監査の結果に基づき「財団法人滋賀県文化振興事業団」が講じた措置の内容 当該案件については徴収が困難であることから、県所管課と協議の上、使用料等徴収事務委託契約における対象から除外し、県を中心に対応することとした。 当該監査の結果に基づき「県」が講じた措置の内容（県民文化生活部県民文化課） 訪問による話し合いや納付催告書、督促状を送付するなど納入義務者に対して納付指導を行っていたところ、平成22年 4 月に債務確認書が提出され、5 月から納入計画に基づく毎月分の納入額が入金されている。今後も確実に履行されるよう指導に努める。

監査の結果に付した意見に基づき措置を講じた旨の通知に係る事項

監査結果報告年月日	平成22年 2 月 26 日
監 査 の 意 見	(1) 造林公社の経営の安定化について（社団法人滋賀県造林公社、財団法人びわ湖造林公社） 社団法人滋賀県造林公社および財団法人びわ湖造林公社については、現在継続中である特定調停を早期に成立させて経営改善を図るとともに、本格的な伐採を間近に控えていることから、生産材の搬出コスト等の削減や販路開拓等による収益拡大に向けた実効ある取り組みを精力的に進められたい。 また、造林公社問題の抜本的な解決に向けた支援策の実現に向けて、国をはじめ各関係機関に強力に働きかけられたい。 当該監査の意見に基づき「社団法人滋賀県造林公社、財団法人びわ湖造林公社」が講じた措置の内容

現在継続中の特定調停については、県の協力を得ながら早期成立を目指して鋭意取り組んでいる。

この特定調停の進捗^{ちよく}および結果等を踏まえ、「社団法人滋賀県造林公社および財団法人びわ湖造林公社の健全な経営の確保のための県の特別な関与に関する条例」に基づき、県から経営計画の策定を求められていることから、平成22年6月に造林公社経営計画検討委員会を設置したところであり、今後、平成22年度内を目途に長期経営計画および中期経営改善計画を策定する予定である。

これらの計画の策定にあたっては、県が進めている県産木材生産流通促進対策とも連携を図りながら、収益拡大に向けた木材の搬出コスト等の削減や販路開拓等を含めた経営改善のための方向性や具体的な取り組みを明らかにするとともに、今後の公社のあり方等の検討を行う。

また、造林公社問題は国の林業施策等に深く関わっているため、国に対しては、全国森林整備協会を通じて造林公社の事業推進や経営の安定化等についての要望活動を行っている。

当該監査の意見に基づき「県」が講じた措置の内容 (琵琶湖環境部森林政策課)

現在継続中の特定調停については、調停期日外の協議を精力的に進めており、早期成立を目指して鋭意取り組んでいる。

造林公社に対しては、この特定調停の進捗^{ちよく}および結果等を踏まえ、「社団法人滋賀県造林公社および財団法人びわ湖造林公社の健全な経営の確保のための県の特別な関与に関する条例」に基づき、長期経営計画および中期経営改善計画の策定を求めているところである。

これらの計画の策定にあたっては、造林公社が収益拡大に向けた実効ある取り組みを進められるよう、県が現在進めている県産木材生産流通促進対策について造林公社と十分な連携を図っていく。

なお、平成21年度から県産木材生産流通促進対策として、施業の集約化および機械化による木材生産の低コスト化や、そのために必要不可欠な人材の育成などの木材生産体制の整備を行うとともに、木材を集積・分別するストックヤード機能や、販路開拓や価格交渉を行う需給調整機能を有する流通拠点の平成23年度の稼働に向けて関係者に対する支援を行っている。

また、造林公社問題の抜本的な解決に向けた支援策の実現に向けて、関係府県で構成する森林整備法人全国協議会および森林整備法人等の経営改善を推進するための森林県連合を通じて、また県単独の政府提案において、国に対しては要望活動を行っている。

監査結果報告年月日 平成22年2月26日

監 査 の 意 見

(2) クリーンセンター滋賀の経営の安定化について (財団法人滋賀県環境事業公社)

企業のゼロエミッションや廃棄物のリサイクルの取り組みにより、社会全体として、廃棄物の最終処分量が大幅に減少していく中で、財団法人滋賀県環境事業公社のクリーンセンター滋賀に搬入される産業廃棄物の量が当初の計画を大きく下回る状況となっている。このため、事業収支が大幅に悪化し、採算性についての見通しが極めて厳しい状況にあるため、抜本的な経営改革のための対策を早急に確立されたい。

当該監査の意見に基づき「財団法人滋賀県環境事業公社」が講じた措置の内容

営業活動による収入の確保と、運営経費の削減等による支出の減による経営改善に取り組むとともに、今年度、県において検討される「経営改善の方針」を踏まえ、平成23年度には中期経営計画を策定し、経営改革に取り組むこととしている。

当該監査の意見に基づき「県」が講じた措置の内容 (琵琶湖環境部循環社会推進課)

公社の経営を安定したものにするため、平成22年9月を目処に外部識者による検討委員会を立ち上げ、今年度中に経営改善の方針素案を定める。

監査結果報告年月日 平成22年2月26日

監 査 の 意 見

(3) 中小企業等への支援について (財団法人滋賀県産業支援プラザ)

財団法人滋賀県産業支援プラザでは、県内企業の人材育成や技術開発、情報化、資金調達等についての支援を進めているが、体系的かつ継続的な支援により企業の体力強化や経営の改善に資するよう努められたい。

また、環境やアグリビジネス等これからの成長が期待できる新たなビジネス分野に挑戦する中小企業者に対する支援の充実に努められたい。

当該監査の意見に基づき「財団法人滋賀県産業支援プラザ」が講じた措置の内容

これまで、経営の革新を図ろうとする企業や起業する者、ベンチャー企業等に対し、行政機関や大学、経済団体、金融機関等と連携し、企業の発展段階に応じた総合的かつ一体的な産業支援に努めてきたところである。

今後も県内企業等の体力強化や経営改善を図り、競争力を高めていくためには、経済環境の変化等に応じて支援の体系や内容の見直し等を的確に行い、関係機関との連携についても一層の強化を図っていくことが重要と認識している。

そこで、平成22年度においては「中小企業応援センター事業」として県内6か所の支援機関がコンソーシアムを組織し、それぞれの特長を活かして体系的、継続的な支援に取り組んでいる。

とりわけ、環境や農商工連携等これからの成長が期待できるビジネス分野については、関係機関との一層の連携を図り、「しが新事業応援ファンド支援事業」の活用をはじめとした総合力で支援していく。

当該監査の意見に基づき「県」が講じた措置の内容 (商工観光労働部商工政策課)

企業の体力強化や経営の改善、さらには新たなビジネス分野への挑戦につながるような体系的・継続的支援を図っていくよう指導した。

監査結果報告年月日	平成22年2月26日
-----------	------------

監査の意見

(4) びわ湖ホール経営の安定化について(財団法人びわ湖ホール)

財団法人びわ湖ホールについては、国内外に向けて滋賀の新しい魅力の発信基地として、県立芸術劇場びわ湖ホールにおける幅広い事業展開に努められたい。

また、地域や企業と連携した音楽祭の開催をはじめオープンカフェなどの周辺地域との連携による事業展開に努めているが、合わせて観光事業との連携を深めることによりさらにホールの活用を図り集客に努め経営の自立性を高められたい。

当該監査の意見に基づき「財団法人びわ湖ホール」が講じた措置の内容

平成22年5月に「ラ・フォル・ジュルネびわ湖 熱狂の日音楽祭 2010」をびわ湖ホールにて開催し、経済団体、交通機関、ホテル、観光団体などと連携して事業の展開を図った。また、大津祭と同時期に公演するオペラの鑑賞を織り交ぜた情報を提供するなど、観光事業との連携も図りながら事業を推進することとした。

当該監査の意見に基づき「県」が講じた措置の内容 (県民文化生活部県民文化課)

「ラ・フォル・ジュルネびわ湖」の開催にあたっては、財団法人びわ湖ホールと協力しながら事業の展開に努めた。今後とも観光事業との連携等を通じてびわ湖ホールの設置目的の達成を目指すとともに、経営の自立性について財団への指導・助言等に努める。

